

資料 8 - 1
新護岸の構造、耐久性について

新護岸の構造、耐久性について

○ 新護岸の構造

新護岸の構造は、鋼矢板（VL型）を採用している。

○ 新護岸の耐久性について

1) 腐食対策

鋼矢板の海側は、腐食対策として、

- ・ 大気中～LWL-1.5m以上：被覆防食（50年耐用）
- ・ LWL-1.5m以下の水中：電気防食（50年耐用）

を行うことで、鋼材を保護している。

※ 被覆防食、電気防食は、「港湾鋼構造物防食・補修マニュアル（2009年版）
一般財団法人 沿岸技術研究センター」に規定された工法を採用している。